

陳情第 5 号

2016年11月18日

霧島市議会議長 殿
池田守



霧島市民の医療を充実するための陳情書

霧島市社会保障推進協議会
会長 原口兼明

〒899-0001 霧島市国分中央3-22-18 国分中央ビル202号
電話 0995-45-4806

【陳情趣旨】

霧島市の国保税は、2007年に県内でもっとも負担の高いものになりました。私たちは数度の署名、陳情を積み重ね、2010年度からようやくその引き下げを実現することができました。（課税所得255万円、4人世帯で26,440円の引き下げ）

しかしこの施策は、2013年4月からは1年単位での継続で実施となっており、国保会計の赤字を背景に引き下げの打ち切りという動きも予想されます。しかし、市民生活の大変さは変わらず、国保会計の改善の一つである誰もが納めやすい国保料を実現するためにも、2017年度についても引き続き引き下げを実施されることを求めます。

また、子ども医療費の窓口無料化を中学卒業まで、すべての子どもに実現するよう求めます。

【陳情事項】

- 1 霧島市の国民健康保険税引き下げを継続すること
- 2 霧島市の子ども医療費の病院窓口での無料化（現物給付方式）をはかること